

徹底

地域づくりは未来づくり、次世代の子ども達のために

現場主義



令和4年も残りわずかとなってきました。岩手県議会は9月30日から10月31日の会期で9月定例会が開催されたところであり、11月25日から12月議会が始まります。

9月議会の決算特別委員会においては、令和3年度決算における県政課題に加え、長引く新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策などが、議論されたところであり、私も質問したところです。

今回の会報37号では、決算特別委員会での質疑要旨、令和5年9月施行の県議会

議員選挙の区割り変更について掲載いたしました。

新型コロナは第8波が懸念され、世界情勢を起因とした物価高騰は続いており、対策を講じなければなりません。加えて9月に公表された「岩手県地震・津波被害想定」への対応を図る必要があります。

私たちの住む県北地域の発展と、県政課題の解決に向け、引き続き現場主義で行動してまいりますので、ご指導よろしくお願いたします。

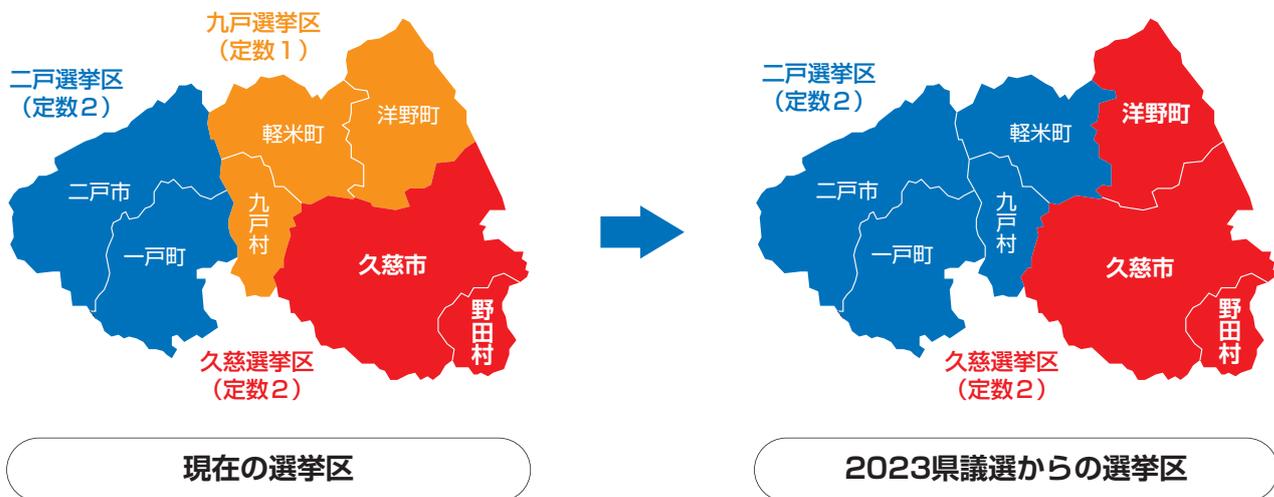
なかたい

岩手県議会議員 中平ひとし

県政報告

No.37
Nov.2022

県議会議員の選挙区および定数の改正



6月定例会において、県議会の定数等に関する条例が改正されました。

私が所属する会派「いわて新政会」においては、県北5・沿岸7議席を維持し県土の均衡ある発展に努めるべきであり、パブリックコメントの内容を反映させない改正案には反対の立場でしたが、議決の結果、改正となりました。

10月18日から28日に行われた令和3年度決算審議において、質問した主な項目になります。

01 国道281号の整備について

【質問】 国道281号案内～戸呂町口工区の進捗状況について
【答弁】 トンネルも含めた道路の詳細設計と用地測量が完了。現在、用地取得を進めている。今後、準備が整った区間から順次工事に着手、事業進捗を図る。

【質問】 久慈内陸道路について

【答弁】 これまでに供用した案内工区、下川井工区に加え、現在、整備を進めている案内～戸呂町口工区は、設計速度を時速60キロメートル、トンネルを中心としたルートとし、沿道利用や主要な交差点を排除し、高規格道路に対応した道路構造としている。

今後とも、国道281号を規格の高い道路として、着実に整備を進めるとともに、久慈内陸道路について着実に調査の熟度を高めながら、久慈・盛岡間の道路ネットワークの構築に取り組んでいく。

02 水産業について

【質問】 磯焼け対策の今後の取り組みについて

【答弁】 令和4年度は久慈市侍浜地区など3地区で、本格的な藻場造成に着手。藻場造成等のハード対策と、ウニの間引きなどソフト対策を行い、藻場再生に計画的に取り組む。

【質問】 漁協経営の状況と対策について

【答弁】 サケ等主要魚種の不漁により、県内24漁協のうち16漁協が当期損失金を計上。経営改善計画に基づき、漁協の経営安定と強化が図られるよう支援していく。

03 土砂災害警戒区域について

【質問】 土砂災害警戒区域の新たな指定への対応について
【答弁】 令和4年3月末現在、要整備箇所3,994箇所のうち整備済は529箇所。9月30日に新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」5,668箇所を抽出。今後、要整備箇所が増える見込み。箇所数が膨大であり、県予算以外にも国の補正予算を活用し整備を進めている。ソフト施策と効果的に組み合わせ、土砂災害対策を推進していく。

04 ICT(情報通信技術)を活用した教育について

【質問】 教育現場におけるICTスキル向上について

【答弁】 1人1台端末等のICTを利用した新たな学びが展開される中で、「岩手県GIGAスクール運営支援センター」を設置し、ヘルプデスクの設置や、訪問指導等を実施している。

機器の不具合や各種ソフトウェアの操作方法等への問合せ対応のほか、各学校に赴き、「ICT活用の苦手克服のための基本研修」、「セキュリティ研修」、「授業での実践的な活用事例紹介」などの内容での訪問指導や研修を実施するとともに、ICT活用事例を紹介している。また、個別相談等の時間も設けて、助言等を行っている。

05 こころのケアセンター・こどもケアセンターについて

【質問】 センターを継続していくための県の取り組みについて

【答弁】 こころのケアを長期的視点にたち実施することが必要。保健医療福祉の人材が脆弱であり、人材の確保、運営経費等、安定的な財源確保が必要。岩手県の実情を国に働きかけていく。

なかたい

